

## 総務教育民生常任委員会

### 付託された8議案全てを全会一致で可決

12月9日、午前9時30分より、委員7名と市長はじめ関係執行部同席のもと、当委員会に付託された8議案について審査したところ、全議案とも全会一致で可決すべきものと決しました。

#### 審査の内容

『下呂市元気ではつらつ増進施設の指定管理者の指定について』今後の施設の在り方についての質疑があり、執行部から「上ヶ平サンビレッジ、金山リバーサイドスポーツセンターのどちらも病院が隣接するので連携し、予防医学に関わる事業を展開したい」と答弁がありました。

また、『下呂市体育施設の指定管理者の指定について』に関しては、管理料の推移や根拠、期間についての質疑があり「更新ごとに5%程度削減しており、その都度報告書をもとに適正に対処している」と答弁がなされました。

『下呂市非常勤の特別職職員の報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について』で



金山リバーサイドスポーツセンター

は、『地域おこし協力隊』の詳細について説明を受けたところ、この制度がUターンを希望する方々にとって未対象である事に対する質疑があり「国の過疎対策支援策であるので、今後国に対する条件緩和の要望、また市単独の施策などで対応したい」と市長より答弁がありました。

## 総務教育民生

### 常任委員会管内視察

11月13日、委員全員及び、教育長をはじめとする教育関係執行部同行のもと、管内視察を実施しました。

はじめに、2園が統合され開園間近の優しい木の香りと暖かな採光を活かして建設された「たけはら保育園」を視察、続いて本年より小中等部も併設され名称も新たになった「下呂特別支援学校」を視察しました。高さが自由に変えられる洗面所や作業台、暖房設備の整った体育館など、配慮の行き届いた環境に驚かされました。続いて市内の中規模校のモデルとして「萩原南中学校」を視察、説明を受けた後、授業を参観しました。次に向かったのは小規模校のモデル「馬瀬小学校」。温もりの感じられる木造の校舎では、53名の生徒。音楽の授業は3・4年生が複



馬瀬中学校での学校視察

式学級で行なっていました。その後「馬瀬中学校」に移動、評判の給食に舌鼓、誰ひとり残す生徒はおらず、羨ましい限りでした。食事後に全校生徒による素晴らしい合唱を披露頂き、授業を参観しました。

学校視察後は、恒例となっている小中学校校長会との懇談、初めての試みとして、グループ分けてそれぞれのテーマについて、約1時間30分にわたり懇談を行いました。今回の当委員会の研究課題であった学校の適正規模、それぞれの長所短所を自分自身の目で確認する事ができた事は、大きな成果であると思います。

# 予算特別委員会

## 一般会計では約7,700万円を増額補正

12月11日に委員会を開催し、付託された9議案について審査した結果、全て可決すべきものと決しました。主な質疑は次の通りです。

### 一般会計補正予算

**Q** 地域元気未来塾など地域の行事に参加している職員がご苦労だと思つ反面、市民はボランティア参加だ。残業手当の支給基準について伺う。

**A** 地域元気未来塾では職員もボランティアで参加しています。金山地区のまちづくり協議会の事務局員は仕事として出務しており、区別しています。

**Q** 電気自動車充電設備導入の補助金の内容について伺う。また、設置場所、使用料金、市内の普及状況について伺う。

**A** 次世代インフラ整備ビジョンに基づき県の補助金で、自治体にしか支給されません。40分で急速充電できる設備を合掌村に設置し

ます。経費もかかるので課金システムや料金を検討中です。市内の普及率は把握していません。

**Q** 御嶽山麓のナショナル高地トレーニングセンターの機材整備は、NPO法人からの要請で行うものか。自治体間の連携はできているか。

**A** 運営を行っているNPO法人との協議の中で、不足するものを設置しています。自治体間の連携については、高山市と協議会を立ち上げ、知事も要望を行っています。

**Q** 旧ホテル下呂館解体の今後の予定について伺う。

**A** 現在は保全管理を行っていますが、雨漏りがひどく、天井が一部で抜け落ちています。カビによる悪臭も発生しています。今後は取り壊しが必要なので館内の整理を始めており、取り壊し経費の検討をしています。

**Q** 下呂館解体事業費（館内備品

類の処分）委託料の768万円は高額に感じるが、その内容について伺う。また、積算の根拠、複数業者の見積によるものかどうか伺う。

**A** 搬出に係る人件費、運搬費などの積算は477万円、これに加えて処理費が含まれています。予算積算のための見積は1社によるものです。

**Q** 複数の業者から見積をとって、妥当なものかどうかを熟視し適正な予算化をすべきではないか。

**A** 予算は予算として認めていたが、実際の執行については入札により適正に取り組みます。

**Q** 交流会館管理運営費1,720万円の減額とあるが、運営上に支障をきたさないか。また、下呂ふるさと文化財団が運用している基本財産の運用益の取り扱いは

**A** この減額は、運営を行っている下呂ふるさと文化財団と協議の上決めたもので、運営に支障はありません。基本財産の運用益については、財団が独自の事業に活用しています。

### ◆一般会計の主な補正予算

#### ◎次世代自動車充電

インフラ整備促進事業  
合掌村に電気自動車急速充電器を設置 655万円

#### ◎ナショナルトレーニングセンター

競技別強化拠点施設活用事業  
濁河温泉高原スポーツクリエイションセンターにウェイトトレーニング機器整備 246万円

#### ◎障がい者自立支援給付費の増額

生活介護・就労支援継続支援B型計画相談支援などの増 3,936万円

#### ◎子ども・子育て支援事業

計画策定事業  
新制度に向けた電子システム構築業務委託費の追加 1,017万円

#### ◎旧下呂館解体事業

施設内部に残された一般廃棄物の処分料など 768万円